



〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX.072-977-8782

山場を超えた百条委員会

竜田古道の里山公園 真相が次々に暴かれる NPO法人「柏原ふる里づくりの会」は市の手先!?

市長・市政を問い直す「百条委員会」が立ち上がって3カ月以上がたった。柏羽藤環境協同組合の行政財産である土地になぜ、NPO法人柏原ふる里づくりの会が所在地として登記できたのか、竜田古道の里山公園の維持管理には、なぜ、13人も人が必要だったのか、少しずつだが事実が明らかになってきた。

地元住民の説明なし、議会にもかけられず、利用価値の？な処分場跡地が柏原市に譲渡

百条委員会でこれまで3回の委員会が開かれた。そして10月2日、竜田古道の里山公園調査特別委員会の委員長・寺田悦久氏から報告が行われた。参考人を招致して得た証言なども含め、以下、その概要である。

柏羽藤環境協同組合の三市町で構成される管理会の意向によって、平成22年、覚書が作成された。第二期最終処分場跡地を柏羽藤環境事業組合から柏原市へ、無償譲渡される

里山整備事業は「柏原ふる里づくりの会」の設立以前から委託契約が決まっていた!

また、当時、市職員、嘱託職員としてかわっていた参考人の意見聴取から、NPO法人（特定非営利活動

とも明らかになった。さらに、柏原市に処分地が譲渡されたときに、「柏原ふる里づくりの会」と柏原市で、竜田古道の里山整備業務にかかる委託契約がなされていたこともわかってきた。「柏原ふる里づくりの会」は平成19年6月8日にNP

人件費などで維持管理費5000万円のうち3700万円がすでになくなった!

処分場跡地、公園の整備において、「柏原ふる里づくりの会」の委託料とは別に、嘱託職員、アルバイト職員が配置されている。平成18年は1人だったのが、だんだん人数が増え、平成23年度には13人と増員されて、今や人件費は約3700万円に上っている。

レモンなどの栽培、イノシシ肉加工場、柏原市とのあやしい関係

これまで「柏原ふる里づくりの会」は、ブルーベリーやレモンの栽培、ダチョウ飼育、イノシシ肉の加工工場と、数々の事業に手を出し失敗を重ねてきた。

維持管理の費用が思ったよりかかり、柏原市単独負担という事態に陥ったのではと、推察している。

岡本市長は先の定例会では、「覚書にかかわらず、処分場跡地は受け取らない」と発言した。また平成24年度は「柏原ふる里づくりの会」との委託契約を凍結した。

10月16日に、二人が参考人招致され、明かされた真実は!!

最初に、参考人として柏原市嘱託職員、前公室長M氏が招致された。6月の定例会で岡本市長が覚書等の実務的なことは、M氏であるような答弁したこと、に真つ向から否定し、「全て、首長がされた」「柏羽藤環境協同組合の行政財産の土地に、NPO法人柏原ふる里づくりの会が登記したことは、環境組合が承知していた」「維持管理費は3市が持つべきだ」と答弁されたが真実は?元市の幹部であり岡本市長の信任の厚い職員が委員会の席で「俺、俺」の連発は、如何なものかと思う。

次のNPO法人柏原ふる里づくりの会理事長(前副理事長) Y氏



「表裏者」
裏表のある人。そとづらと、内心が異なる者。